

竹原っ子会議（地域と共にある竹原中学校）

対象学校名等	下呂市立竹原中学校	対象学年	全学年
支援活動内容	生徒会を中心とした継続的な地域貢献活動の支援		

学校の願い

竹原中学校では、竹原小学校からの9年間を見通し、ふるさと竹原に誇りと愛着を持つ将来の担い手を育てている。経営方針「ふるさとを愛しひとりだちを誇る生徒の育成」に基づき、生徒会や総合的な学習の時間、地域生活の中で、生徒一人一人が自分から積極的に地域に関わっている。学校生活で身につけた力を地域で発揮すると同時に、地域と共にある学校を目指している。

コーディネーターの関わり

地域の子育て組織「竹原っこ会議」を核として学校のねらいと地域の願いを共有化した。また、生徒会では「地域と共生きる竹原中」を合言葉に、生徒の思いをもとに自分達で地域貢献活動ができるように「地域連携コーディネータ教師」が中心となって活動を仕組んでいる。

活動内容

- 下呂市から「下呂観光大使」に任命され、修学旅行先の東京での観光PR活動を通して、ふるさとに対する愛着と誇りがより強くなった。
- 夏休み前の「地区別生徒集会」に区長・地域の方を招いて、中学生に期待されることを聞き、草取りや地域の行事に積極的に参加すること等、自分達でできることを話し合っって計画し実行した。
- 夏休みに独居老人宅へ手作り弁当を届ける等、地域で数々の福祉ボランティアに参加。老人とのふれあいゲートボールや独居老人宅への訪問を継続し、地域の方と関わる活動を積極的に実施。
- 秋には各地区ごとに『竹原エリア掃除』で、全校で地域清掃。種から育てた花（ビオラ等）を独居老人宅に届けた。暑中見舞いや年賀状を通して独居老人との交流を継続した。
- 交通マナーについて地域からの指摘を受け、生徒会が「交通マナーアップ宣言」をし、国道沿いでキャンペーン活動。警察や交通安全協会等多くの地域の方の協力を得て実践した。
- 本年度は竹原のすべての地区で中学生の思いを受けて、「盆踊り練習会」が地域の方で自主的に行われ、小学生にも広がった。中学生の参加で、当日は今までになく地域行事がもりあがった。
- 昨年度に引き続き、中3が地域の方々（竹原っ子会議関係者）と座談会をもった。「住み続けたい『ふるさと・竹原』にするために」をテーマに、グループにわかれて語り合った。



東京でPR「下呂市観光大使」



独居老人のお宅に「花届け隊」



地域の方と「ふるさと座談会」

活動の効果

- ・ 地域の思いを直接聞き、実践して喜んでいただけたことで、竹原に対する誇りや愛着がより強くなった。「いつでも・どこでも・一人でも」思いを持ってやりきる実践力がついた。
- ・ 夏休み中の盆踊りに多くの中学生が参加したことから、すべての地区で今までにないほどの大変な盛り上がりを見せた。中学生の活躍で地域行事や地域の様々な活動が活発になった。
- ・ 中学生の姿を見て、地域の方も「地域の子は地域で育てる」と、地域作りの主体的意識が高まった。